

8-4-6 業務研究発表会WG

1. WG 設置主旨

本WGは、建設コンサルタントの継続教育の一環として、平成13年度より開催される「建設コンサルタント 業務研究発表会」を円滑に開催するため、令和元年度より設置された。業務研究発表会は、「業務における優れた成果や自主研究開発成果の発表を通じて、互いの技術の研鑽を図ること」を目的としており、それを具現化するための検討・準備を実施するWGである。

2. 主な活動の記録

毎年9月の業務研究発表会開催に向けて、インフラストラクチャー研究会と共同して、主に以下の活動を実施した。

(1) ワーキングの開催（計4回の開催）

a) 第1回 運営会議（4月23日）

今年度開催にあたり、改善事項・プログラム等を確認し、実施要項を協議した。

b) 発表論文 一次審査会（6月14日）

応募総数90件より、新規性・市場性・論理性という観点で審査を実施し、4分野で各8編、合計32編を選定した。（査読期間：5月20日から6月6日、審査結果発表：6月24日）

c) 業務研究発表会 反省会（10月3日）

開催結果を報告、各種データを集計・分析・考察して概要を共有し、次年度に向けて課題抽出と改善策を協議した。

d) 第2回 運営会議（1月22日）

採点要領・発表要領・当日運営等の課題に関して再検討し、業務研究発表会開催の改革案について協議した。

(2) 業務研究発表会の開催

令和元年9月12日、ホテル グランドアーク 半蔵門にて232名の参加書を集めて開催され、「河川・水防災」、「交通・道路・橋梁」、「都市・マネジメント」、「新技術・新領域」の4分野32編より、最優秀賞1名、優秀賞3名、特別賞4名が選考された。これに先立ち基調講演「一帯

一路をどう読み解くか？（家田 仁教授）」と、発表会終了後には、海外視察報告会ならびに懇親会（表彰式）を執り行った。また、協会機関紙「Consultant」に開催結果を掲載した。

3. 次年度の活動について

20年目を迎え、更なる飛躍を期して、これまでの知見を活かした業務研究発表会の改革を検討する。コンサルティング・エンジニアの技術の研鑽という目的をより充実させ、昨今の働き方改革にも呼応した、誰もが参加できる機会としての業務研究発表会を目標とする。活動計画は次のとおりである。

- ・第1回 運営会議（4月20日）
- ・発表論文 一次審査会（6月15日）
- ・令和2年度 業務研究発表会（9月15日）
12:30 開始 ～ 17:30 終了（50分短縮）
- ・業務研究発表会 反省会（10月初旬）
- ・第2回 運営会議（1月下旬）

（業務研究発表会WGWG長 藤井 久矢）